



津嘉山大綱曳き 7月27日、28日

津嘉山小で 21年ぶりに開催

津嘉山大綱曳き実行委員会(委員長・金城清津嘉山区長)は2024年7月27日(土)と28日(日)の両日、津嘉山小学校で大綱曳きを実施する。大綱曳きは2003年以来、21年ぶりの実施となる。

綱を曳くのは27日のみで、28日は関連行事がある。綱打ち(7月7日(日))に津嘉山地域振興資料館で、21日(日)には小学校で大綱の組み立てを行う。
金城清実行委員長は「近年は移住者が増え、綱曳きを見たことがない人も多い。伝統を若手に継承し、住民の絆を深めるために実施を決めた。多くの区民に参加してもらいたい」と語った。

毎年行う御願綱(うが んづな)と、区が実施するかどうかを決めて行う大綱曳き(ウーシナ)がある。大綱曳きは2003年以来21年ぶり、戦後6回目の開催となる。
昨年12月の区評議員会で大綱曳きの実施が決まり、ことし1月中旬までに4回の準備委員会が開かれた。予算や実行委員会、各専門部、顧問の人選

した。区の女性の会はずでに参加者が持つ旗飾りの制作を始めており、今後は綱曳きの中心となる区民と協力し、旗頭や大旗の制作に取りかかる。
6月2日午後2時には大綱曳きの歴史を学ぶ勉強会が津嘉山地域振興資料館であり、綱曳きの歴史に詳しい城間良和さんが講演する。入場は無料。
津嘉山は南風原町内で最も大きい字で、旧暦6月18日前後に行われる大綱曳きでは、全長約100メー

トルの大綱がつくられるほか、琉球国王からの賜ったと伝わる御拝領旗をはじめとした道具、衣装類が区民の手作業によって新調されるのも特徴だ。
大綱曳きの日程などは区の公認ウェブサイトで確認できる。
QRコードは以下。



4月21日に東村で行われた竹の採取(上)とカナチの伐採(左)



大綱曳き今後の日程

【5~6月】 旗頭・チナブ・カナチ棒、シタク衣装の作成

【7月】 7日:綱打ち

21日:綱の組み立て

27日:本番(1日目)

28日:本番(2日目)

綱曳きは、東と西から旗頭を先頭に、王府の首里から習ったとされる鉦鼓隊が続き、スネーイをしながら、津嘉山小学校敷地内にて行われます。
旧暦6月18日前後に行われる大綱曳きでは、大綱がつくられ、引かれるほか、琉球国王から賜ったと伝わる御拝領旗をはじめとした道具、衣装類が区民の手作業によって新調されるのも特徴です。

南風原町津嘉山には、毎年行われる御願綱と、十数年に一度行われるウーシナ(大綱曳き)があります。
かつて津嘉山は稲作が盛んで、琉球王府の台所と言われたほど琉球王朝の信頼が厚く、尚敬王(しょうけいおう)時代には地域のシンボリックな旗である旗頭を東西各1旗、拝領しました。旗頭は綱曳きで披露され、東の一番旗・國泰、西の一番旗・太平の文字と装飾は現在まで守り継がれています。



「旗作り」に着手した女性部のメンバーら=3月22日、津嘉山公民館

女性の会 旗作り始める 毎週水曜 参加者を募集

女性の会が3月下旬から津嘉山地域振興資料館で旗飾りの制作を始め、21年前と比べての午後7時〜9時半に作業する予定で、参加者を募っている。

女性部は鉦鼓隊(ソングタイ)のボラやバチに付ける飾り、大旗(ウフバタ)に付けるウナギやムカデのほか、手巾(ティサージ)の制作も担う。

女性の会の呉屋朱 (0889)1495。

網曳きの歴史学ぼう 6月に勉強会資料館で

津嘉山大綱曳きの歴史を学ぼうと、女性の会は、津嘉山出身の女性のかかわらず、多くの方々の参加を待ちわび、津嘉山地域振興資料館で網曳きの歴史に詳しい城間良和さんをお呼びし、津嘉山地域振興資料館で入場無料。

2024年は21年ぶり、大綱曳きが開催されるが、なぜ津嘉山で、網曳きが始まったのか、歌の由来は何か、女性の会の中で学び直そうという機運が高まったという。

勉強会終了後は城間さんと一緒に津嘉山集落を巡る散歩も企画し



TSUKAZAN.INFO



21年ぶり開催!

津嘉山大綱曳き

津嘉山の網曳きについて学んでみませんか?

日時: 令和6年 6月 2日 (日曜日)
時間: 13時半開場 14時開演~16時
講師: 城間 良和さん
(講演後、旧津嘉山村をたどってみる散歩も企画しています)

参加費: 無料!!

大人も子供も津嘉山以外でお住まいの方も大歓迎です!!
皆様の来場お待ちしております!!

主催: 津嘉山女性の会

2024 大綱曳き 実行委員会

